

野として継続していきたい。

団体連絡会もあり、その中で横断的に取り組みたい。

女性が活躍できる環境づくりについて

議員 女性がもっと活躍できるよう研修会等の機会を拡大し、人材育成や環境づくりを積極的に行うことはできないのかたずねる。

市長 男女共同参画に関する研修をこれまで行つておる、現在、この研修を受講された受講者の有志がグループをつくり、活動を続けている。今後も、このような形で地域での研修機会を広げていきたい。

議員 「農業女子」のように新しい視点に立つて新しいビジネスをすれば、経済にも活力が出る可能性もある。そして市の様々な課題解決においても有効な手段と考える。そのため女性を対象とした各種研修会や、

それぞれの分野での取組みが横断的でないか。

市民生活部長 本市には幅広い層が集まっている女性

行う機能別団員の採用も検討している。

身近な災害への対応について

議員 ①「大規模災害時の自主防災意識」といった意識の醸成はできてきていると考えるが、身近な災害への対応はどうかたずねる。

②消防団員の確保の現状と課題についてたずねる。



孤独死のない笠岡市を目指して

議員 孤独死をなくす対策をどう考えているのか。

市長 地域全体で高齢者の生活を支えるために、地域包括支援センターの機能強化、地域住民と地域の関係機関との連携強化に努めていくことを考えている。

議員 住民自身が企画運営し、地域の元気なお年寄りがいつでも集まる場所が網の目のようにできればいいと考えるが、どうか。

健康福祉部長 公民館等の活動を通じて、ひきこもりがちな方が様々な場所に出て、賑いや絆ができるようにしていきたい。

介護保険制度の改善

議員 政府は、介護保険制度の中で、要支援1、2の約6割が利用している訪問介護、通所介護を全部市町村に丸投げして、事業費の上限を設ける等厳しい利用抑制を図ろうとしているが市民への影響と本市の対策についてたずねる。

市長 当面は財政的には市町村に大きな影響はないと考えるが、今後事業費の上限が設けられ、サービスの低下につながることも懸念されるので、引き続き情報収集に努め、必要に応じて国に要望していきたい。

子どものスマート依存問題について

議員 スマホの長時間のネット利用により人格形成への影響等が問題視されているが、当市の実態と対策についてたずねる。

教育長 現在市内の子ども達の間で影響は確認できないが、各学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、発達段階に応じた情報教育を実

施している。そして各学校には、生徒達の様子を観察し、メディアとのつき合い方の指導を継続するよう働きかけている。

幼稚園給食について



幼稚園給食について

議員 学校給食実施基準の一部改正があり、各市町村にも通知され、適切な対応を求められている。本市の対応についてたずねる。

教育長 去年3月に本市の幼稚園の保護者へ給食に関するアンケートを行い、その回答では、約8割の保護者が何らかの形で給食を希望する内容となっているが、

給食提供については、施設面、アレルギー対応面等課題が多く、新しい学校給食センターで実施したいと考